

学修の成果・時間と 単位制度から考える 学士課程教育の再設計

学修成果と単位制度に係る総論的なふたつの講演と、
学士課程の設計という観点から注目される3事例の各論的な講演を通して、
学修成果と学修時間というふたつの難題に対して、大学がどう応え得るのかを模索したい。

日時 2019年11月18日(月) 13:00~17:25
(17:30~19:00 懇親会)

会場 仙台ガーデンパレス2F 鳳凰
(仙台市宮城野区榴岡4-1-5 TEL:022-299-6211)

プログラム

- 13:00 開講式/挨拶: 大野 英男 (IDE大学協会東北支部長、東北大学総長)
13:05 趣旨説明: 串本 剛 (東北大学高度教養教育・学生支援機構 准教授)
- 13:20 **講演(総論1)** 「**大学は誰に何を説明するのか—共通性と多様性の両立**」
深堀 聡子 氏 (九州大学教育改革推進本部 教授)
- 14:05 **講演(事例1)** 「**岡山大学における「60分授業・4学期制」について**」
佐々木 健二 氏 (岡山大学全学教育・学生支援機構副機構長・教授 (特任))
- 14:35 **講演(事例2)** 「**玉川大学の教育改革とキャップ制**」
菊池 重雄 氏 (玉川大学名誉教授・特任教授)
- 15:05 **講演(事例3)** 「**学習の有機的なつながりをつけるユニットプログラムとその実践**」
金井 徳兼 氏 (神奈川工科大学創造工学部 教授)
- 15:45 **講演(総論2)** 「**学修時間と単位制度を再検討する:日米の議論から**」
森 利枝 氏 (大学改革支援・学位授与機構 教授)
- 16:20 討 議
17:15 閉講式/挨拶: 山口 昌弘 (東北大学副学長、高度教養教育・学生支援機構 副機構長)
17:30 懇親会 (~ 19:00)

■ 申込み方法: Web 申込み (<http://www.ihe.tohoku.ac.jp/>) 又は、別紙「参加申込書」に記載の上、郵送、FAX、メールのいずれかにてお申込みください。

■ 申込締切: 2019年11月11日(月) 到着分まで

■ 参加費用: (1) セミナー参加費は無料ですが、セミナー参加に係る交通費、宿泊費等は全て参加者のご負担とさせていただきます。
(2) 懇親会に出席される方は、会費3,000円を当日会場にて申し受けます。

■ 連絡先・参加申込先: IDE 大学協会東北支部事務局 (東北大学総務企画部総務課内)

〒980-8577 仙台市青葉区片平二丁目1-1

TEL: 022(217)4807 FAX: 022(217)5906

E-mail: gen-som@grp.tohoku.ac.jp

主催: IDE 大学協会東北支部/東北大学高度教養教育・学生支援機構